

幼児教育学科

科目名： 保育実習 I-②			担当教員 氏名： 石津、山本、小川、岡野、藤井、宮越			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	実習	選択	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
入所型および通所型の児童福祉施設やその他の福祉施設等での10日間の実習を通して、子どもや利用者の理解を深め、福祉施設の人的・物的環境や保育士の業務内容について具体的に理解を深める。					・入所型施設 ・通所型施設 ・子ども理解 ・利用者理解 ・福祉施設の環境 ・保育士の業務内容	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 8. 9.	
A 知識・理解力	福祉施設のもつ機能・役割を理解する。福祉施設の子どもや利用者への理解を深める。					
B 専門的技術	福祉施設の人的・物的環境を理解した上で、子どもや利用者として接する。					
C 論理的思考力	保育・支援計画について理解・活用し、記録に基づく自己評価等を行う。					
D 問題解決力	保育・支援計画について理解・活用し、自己課題に気づき改善する。					
G 倫理観	保育士の業務内容や倫理観について具体的に学ぶ。					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：	%	レポート：	%	発表：	%	実技試験： %
				その他： 100 %		
特記事項： 実習先施設の評価に担当教員の評価を合わせ、総合的に評価する。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
※実習先施設のプロプログラムに沿って実習を行う。						
使用テキスト：				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 本実習の対象となる施設は、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、指定障害児施設入所施設、児童発達支援施設、障害者支援施設等です。実習は子どもたちや利用者の生活の場で行われます。そのことを十分認識し、社会人としての自覚をもって実習に臨んで下さい。 尚、保育実習 I-②への参加は、保育実習指導やその他保育士資格に必要な科目の履修状況、保育実習 I-①の実習状況や評価、短大生活への取り組み等に基づいて総合的に判断されます。						